



清風

南砺市立上平小学校
学校だより
令和4年4月
上平小学校ホームページ
<http://kamitaira-e.el.tym.ed.jp>

校長 中町 寿子

上平小学校は、新入生4名を迎え、全校児童58名で令和4年度のスタートをきりました。

本校の教育目標は「ふるさとを愛し、心豊かにたくましく生きる子供の育成」です。この五箇山で育つ子供たちは、たくさんの愛情に包まれて成長していきます。保護者、地域の皆様から、どれだけ温かく見守られていることか。そして、この五箇山という自然や伝統、文化といった宝にどれだけ囲まれていることか。私たちは、このことに感謝して子供たちの成長をサポートしていかなければいけないと思っています。

さて、今、子供たちは「予測困難な時代」を生きていくために必要な力を身に付けることが求められています。中央教育審議会答申では、「社会の変化にいかに対処していくかという**受け身の観点に立つのであれば難しい時代になる**可能性を指摘した上で、**変化を前向きに受け止め**、社会や人生、生活を人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにする必要性等」を指摘しています。例えば、受け身に甘んじるのではなく、自分から切り拓くことをおそれない姿でしょうか。自分で考えて実践する。それが失敗であればなおのこと次につながる財産になると考えます。

全ての子供たちは、よさや可能性をもっています。それを精一杯発揮できる機会を適切に保障することが、私たちの大切な役割であると考えます。そのため今年も、子供が自己決定できることを大切にしたいと思っています。「**子供が自分で決められる**」ことを大事にした教育活動を進めていきます。

《ほのぼの上平っ子》

カルタ遊びから

休み時間にAさんとカルタをすることにしました。でも、二人だと、読み手と取り手が一人ずつです。そこで、通りかかったBさんに声をかけました「一緒にやろうよ。」「いいよ。でも、これ、片付けてからね。」それまで遊んでいた「こま」を一度きちんと片付けてきました。Aさんが読み手になりました。わたしはBさんに、「ハンデはいりますか。」と聞きましたが、Bさんは「いらないよ。」と答えたため、内心大丈夫かなと思いました。ところが、Bさんの強いこと強いこと。わたしは大差で負けてしまいました。二人は、後片付けもしっかりやり、次の時間の学習に行きました。当たり前片付けができて、遊びも上手。素敵な休み時間になりました。



チーム高学年のスタート

高学年主任

静かだった学校に子供たちの明るく弾む声に戻ってきました。子供たちの目は、進級の喜びとこれから始まる学校生活への期待で輝いています。5年生は、いよいよ高学年の仲間入り。6年生は、最上級生となり、授業や当番活動等に取り組む姿はやる気に満ち溢れています。本年度もチーム担任制を生かして、高学年で学習や活動に励んでいきます。

〈演技の構成を話し合う子供たち〉 教科では、体育、音楽、図工と一緒に学習します。学習に取り組む子供たちの顔つきや言動は、最高学年、高学年としての意気込みにあふれ、互いによい刺激になっています。4月の体育科の学習では、シンクロマットに挑戦しています。技のバランスやタイミングを考えながら、自分たちで選んだ曲に合わせて演技内容を決めていきます。取組の様子からは6年生が率先して指揮をとったり、5年生が積極的にアイデアを出したりする姿が見られます。高学年で協力し、助け合う中で、演技を完成させていく喜びを味わうことも期待しています。

今年度は、上平小学校のリーダーとして、自分たちで主体的に考え、よりよい上平小学校をつくり上げていく高学年を目指していきたいと思っています。